

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年 2月 29日

【評価実施概要】

事業所番号	0172901043		
法人名	社会福祉法人旭川健翔会		
事業所名	グループホームあさがお		
所在地	旭川市豊岡4条6丁目4番27号 (電話) 0166-38-6121		
評価機関名	北海道社会福祉協議会		
所在地	札幌市中央区北2条西7丁目1番地		
訪問調査日	平成20年1月18日	評価確定日	平成20年2月29日

【情報提供票より】(19年11月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成 14年 9月 1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	26 人	常勤 5人, 非常勤 19人, 常勤換算	11.9人

(2) 建物概要

建物構造	本館：鉄筋コンクリート鉄骨 造り 別館：木造亜鉛メッキ鋼板葺 造り	
	2 階建ての	2 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	本館：27,000 別館：28,000 円	その他の経費(月額)	20,000 ~ 26,000 円	
敷 金	有 (円)	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有 (円) 無	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり		1,200 円	

(4) 利用者の概要(11月1日現在)

利用者人数	18 名	男性	4 名	女性	14 名	
要介護1	0	要介護2	4			
要介護3	7	要介護4	6			
要介護5	1	要支援2	0			
年齢	平均	84 歳	最低	59 歳	最高	99 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人社団 整形外科 進藤病院・梅津歯科クリニック
---------	----------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

当事業所は平成14年に開設され、デイサービス・ヘルプステーション・小規模多機能事業所等を併設している。職員は利用者一人ひとりの思いを大切にし、本人本位のケアサービスとなるよう日々取り組んでいる。夏季には毎週車で遠出を楽しんだり、習字・折り紙・フラワーアレンジメント等のクラブ活動にも利用者が積極的に参加できるよう努め、一人ひとりの力や好みに応じた楽しみごとの支援を行っている。多くの家族が頻繁に来訪し、職員は積極的に声かけをするなど、家族とのコミュニケーションを大切にしている。今後も地域に事業所としての機能を還元し、より地域に根ざした生活の実現が期待できる事業所である。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目：外部4)
	前回評価での課題であった、ヒヤリハットを作成し安全対策に努めるとともに、研修の報告等の項目について職員全体で話し合い、早急に改善に取り組んでいる。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目：外部4)
	今回の自己評価に際してミーティング時に全職員で話し合い、管理者がまとめている。また、自己評価を日々のケアサービスを振り返る機会としており、更なる質の向上に活かしている。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目：外部4, 5, 6)
	定期的に運営推進会議を開催し、利用者家族・町内会長・民生委員等が参加している。会議では事業所の運営状況や併設している小規模多機能事業所の利用状況等について報告し、事業所に対して地域から更なる理解が得られるよう働きかけている。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目：外部7, 8)
	多くの利用者家族が頻繁に来訪しており、その際に職員は声かけをし利用者の暮らしぶり等について家族に伝え、意見・要望等を聞いている。また、重要事項説明書に内部・外部の苦情相談窓口を明示したり、事業所内に意見箱を設置するなど、家族が気軽に意見等を伝えられるような工夫をしている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目：外部3)
	町内会に加入し、地域の行事に参加したり事業所のクラブ活動に近隣住民にも参加してもらうなど、地域との交流に努めている。また、ボランティアが来訪したり緊急時に地域から協力が得られるような体制が築かれているなど、地域との密なる連携を図っている。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念の共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「家庭生活に極力近い生活、かつ意思と人格を尊重した自立的な生活を支援する」ことを盛り込んだ独自の理念をつくりあげ、職員間で共有している。	○	今後理念において地域密着型サービスとしての役割について再検討することが期待される。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	ミーティング時等の折に触れ、理念について話しをし職員間で共有しながらその実践に向けて日々取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会に加入し、行事に参加したり事業所のクラブ活動に近隣住民も参加するなど、地域との交流を図っている。また、ボランティアが来訪するなど、地域との密なる連携を取っている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価を日々のケアサービスを振り返る機会としており、全職員で話し合い取り組んでいる。また、前回評価での課題について改善に取り組んでいる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>定期的に運営推進会議を開催し、利用者家族・町内会会長・民生委員等が参加している。会議では事業所の運営状況や、併設している小規模多機能事業所の利用状況等について報告し、事業所への更なる理解を得られるよう努めている。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>市が主催する研修に参加し、ミーティング時に報告している。また、地域包括支援センターのケアマネジャーの会議に毎月参加し、同業者と情報交換等を行い、サービスの質の向上に活かしている。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>大多数の利用者家族が頻繁に来訪しており、その際に職員は利用者の暮らしぶりや健康状態等について家族に伝えている。また、利用者の健康状態等に変化があった場合はそのつど連絡している。</p>	○	<p>今後は定期的に事業所便りを発行し、利用者の日々の生活の様子や職員の異動等について家族にこまめに報告することが期待される。</p>
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族の来訪時に職員は積極的な声かけをし、家族が気軽に意見・要望等を伝えやすい雰囲気づくりに努めている。また、運営推進会議への家族の参加を呼びかけたり、事業所内に意見箱を設置するなど、家族の意見等をより多く寄せられるよう工夫している。家族から意見等を受けた場合は迅速に対応し、事業所の運営に反映させている。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員の異動・離職等は最小限となるよう努め、利用者との馴染みの関係を大切にされた支援を行っている。</p>		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	道や市が主催する研修に参加し、ミーティング時に研修内容を報告し、情報を共有している。また、全職員が救急救命講習を受講し、サービスの質の向上に努めている。	○	今後は定期的に全職員が外部研修に参加する機会を設け、更なる職員のスキルアップを図る取り組みが期待される。
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域包括支援センターで実施されているケアマネジャーの勉強会等で同業者と交流し、情報収集や意見交換を行ったりネットワークづくりに取り組み、サービスの質の向上に努めている。しかし、他事業所との相互訪問を行うまでには至っていない。	○	今後、他事業所との相互訪問や職員交換研修等を行う機会を設け、サービスの質の向上に取り組むことが期待される。
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	事前に利用者本人・家族に見学してもらったり面談を行い、馴染みの関係を築き利用者が安心して入居できるよう配慮している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	花や野菜の水やり・掃除・買い物など、利用者の得意なことを見極め、力を発揮できる場面づくりに取り組んでいる。また、職員は調理や手芸など利用者から教えてもらうことが多く、支えあう関係を築いている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1.一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>入居前に利用者・家族から情報を収集し、希望や意向の把握に努めている。また、職員は利用者との会話からも希望等を汲み取れるよう努め、日々のミーティング時に話し合い、情報を共有しながら対応している。</p>		
2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>利用者本人・家族の希望や職員の気付き等に関して毎月のミーティング時に話し合い、意見を出し合いながら介護計画を作成している。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>3ヶ月毎に介護計画の見直しを行うとともに、利用者の状態の変化に応じてそのつど話し合い、新たな介護計画を作成している。</p>		
3.多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>本人や家族の希望に応じて、通院・散歩・買い物・遠出の際の付き添いなど、柔軟な支援を行っている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	利用者本人・家族が希望するかかりつけ医への受診支援を行っている。また、医療機関と連携を取り、利用者の健康状態等について看護師に相談できる体制を整えている。		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	終末期に向けた方針について「看取り看護についての同意書」を家族と交わし、方針を共有している。また、早い段階から医療機関とも連携を取り、本人・家族の意向を確認しながら方針を定めている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	職員は利用者の誇りや羞恥心に配慮した声かけや対応を心がけ、日々のケアサービスを実践している。また、個人情報等は保管場所が取り決められており、プライバシーの保護に努めている。		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	職員は利用者のペースを大切に、食事を摂る場所や時間などについても、一人ひとりの状態に合わせた支援を行っている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	定期的に嗜好調査を行い、利用者の好みを探り入れた献立を作成している。また、利用者が食事を摂っている傍らで職員は見守り、会話を楽しみながら支援している。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者の希望や状態に合わせ、週に2回以上入浴できるよう支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	職員は利用者の興味があることや力を把握し、習字・民謡・カラオケ・折り紙・フラワーアレンジメント等のクラブ活動に日々参加する機会を設け、楽しみごとや気晴らしの支援を行っている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩・買い物・ドライブ・図書館・外食など、利用者の希望に応じた外出支援を行っている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	職員は鍵をかけることの弊害を理解しており、緊急時以外は鍵をかけないケアに取り組んでいる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	定期的に避難訓練や消火訓練を実施するとともに、緊急連絡網を作成し、速やかに対応できるよう備えている。また、緊急時に地域から協力が得られるような体制が整えられている。また、現在スプリンクラーの設置を検討中である。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	職員は利用者の健康状態に応じて食事や塩分量を調整し、一人ひとりの状況に合わせて栄養バランスを確保できるよう支援している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	事業所内はバリアフリーの設計がなされるとともに広々としており、また、天窓が設置され十分な光が採り入れられている。さらに、季節の花鉢が置かれて季節感を感じられるよう工夫しており、利用者が居心地良く過ごせるような空間となっている。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には利用者が使い慣れた馴染みの家具・仏壇・カーテン等が持ち込まれており、本人が安心して過ごせるよう配慮している。		

 は、重点項目。